

特集

大雨・台風 に備える

6月から10月にかけて、大雨や台風による災害が発生しやすい時期になります。
自宅の備えや備蓄をして、大雨・台風 に備えましょう。

自宅の備え

大雨・台風が発生する前に**自宅周辺に危険なものはないか**確認しましょう。
特別な対応が必要な場合は専門業者に早めに依頼をしましょう。



屋根材

- ☐ 屋根瓦やスレートがはく離していませんか



Check

アンテナ

- ☐ 錆びたり緩んだりしていないか

Check

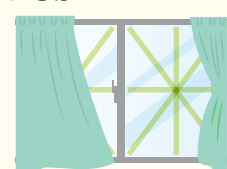
雨どい

- ☐ 破損していないか
- ☐ 枯れ葉や砂が詰まっているか

Check

窓ガラス

- ☐ ひび割れやがたつきがないか
- ☐ カーテンを閉め、窓にテープを貼るなどの飛散防止対策をしているか



Check

物干し竿

- ☐ 飛ばされないよう降ろしているか

Check

Check

Check

庭やベランダにあるもの

- ☐ 家の外に出したままにしていないか
- ☐ 家の中にしまえないものは、しっかりと固定しているか
- ☐ 庭木は定期的に剪定しているか

雨戸やシャッター

- ☐ 台風が接近する前に閉めた状態にしているか



Check

側溝や雨水ます

- ☐ ふさがないように日頃から清掃をしているか



Check

雨水ます

停電・断水などに備えた備蓄

災害発生時には停電・断水などが発生することを想定し、生活に必要なものを**最低3日分**備蓄しましょう。(震災時にも活用できます)

- ☐ 飲料水
- ☐ 食料
- ☐ 紙皿・紙コップ
- ☐ ラップ
- ☐ カセットガスコンロ・ボンベ
- ☐ 懐中電灯
- ☐ 電池
- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ モバイルバッテリー
- ☐ LEDランタン
- ☐ 生理用品
- ☐ 紙おむつ・おしりふき など
- ☐ ティッシュ
- ☐ トイレト Paper
- ☐ トイレパック

乳幼児など家族構成を踏まえて、必要な物を備えましょう。

備蓄の目安：最低3日分(できれば1週間分)

1人1日3リットル、3日で9リットル

1人1日5回分、3日で15回分

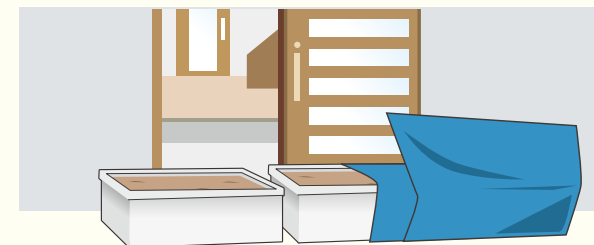
浸水への備え

大雨が予想される場合は自宅への浸水被害を防ぐため、**水が浸入しそうな場所に対策**をしましょう。

●玄関扉や窓などの出入口には、プランターや水のうなどを活用して浸水を防ぎましょう。



水のうと長めの板などを組み合わせて並べます。



土を入れたプランターを、ブルーシートなどで包み並べます。



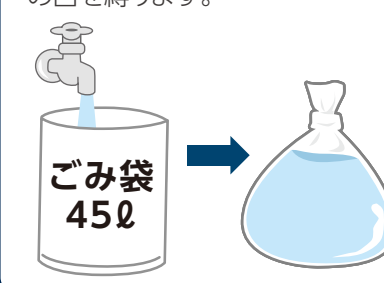
水のうを段ボールに入れて並べます。

●お風呂や洗濯機の排水口、水洗トイレなどから、家の中に下水が逆流することがあります。
道路が冠水するほどの大雨の場合は水のうで排水箇所をふさぎましょう。



水のうの作り方

ごみ袋(45リットル)を二重にし、中に半分くらい水を入れ、袋の口を縛ります。



これらの対策は応急処置です。
浸水の危険性を感じたときは、**早めに**安全な場所(自宅2階など)へ移動しましょう。

ハザードマップの確認

自宅周辺の災害リスクを把握しましょう。

泉区 ハザードマップ 検索



泉区洪水・内水ハザードマップ

河川はん濫による浸水(洪水)および下水道や水路からの浸水(内水)の想定区域を地図上で確認できます。



横浜市土砂災害ハザードマップ

がけ崩れが発生した場合に、被害を受けるおそれのある区域(土砂災害警戒区域)を地図上で確認できます。



大雨・台風接近中! ~知っておきたい事前の備え~

自宅の備えや備蓄のほかに、避難に関する情報も掲載されたリーフレットです。



泉区 風水害への備え 検索

総務課(3階305窓口)で配布しているぞん!



適切な避難行動を!

- 自宅に浸水や土砂災害の危険がない場合は、停電や断水への備えをして**在宅避難**をしましょう。
- 安全な場所にある親族宅や知人宅などへの避難を検討しましょう。
- 雨風が強くなってからは、屋外へ出ないようにしましょう。



避難をする場合は...

- 必ず区役所ホームページなどで開設中の避難場所を確認してください。災害状況に応じて開設場所が異なります。
- マスクの着用や手指消毒など、感染症対策をしてください。
- 風水害時の避難場所では、食料・物資などの配布はありません。ご自身で準備をしてください。

泉区 防災・災害 検索

